

国土交通省  
信濃川河川事務所

記者発表資料

発表日 平成19年7月23日

## 平成18年度完成 優良工事等表彰について

優良工事等の表彰は、信濃川河川事務所所管の工事等に関し、その施工及び成果が特に優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、建設技術の向上と建設事業の推進に役立てることを目的として毎年実施しています。

この度、平成18年度完成工事等を対象とした優良工事等を選定し表彰することとしましたのでお知らせします。

なお、新潟県中越沖地震の緊急対応に伴い、表彰式は行いません。

取扱い

発表をもって解禁

発表記者クラブ

長岡市政記者会  
週旬刊記者会

問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局

信濃川河川事務所 (電話) 0258-32-3020

副所長 杉本 利英

工務課長 右近 則男

## 優良工事等の表彰について

### 1. 目的

優良工事等の表彰は、信濃川河川事務所所管の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

この中で、特に優秀なものを局長表彰、優秀なものを事務所長表彰としています。

また、優良工事に選定された工事において、下請負者も当該工事の施工に貢献した企業として表彰しています。

### 2. 平成19年度の選定数

平成18年度に完成した工事等の中から、事務所長表彰を下記のとおり選定しました。

なお、局長表彰は、別途北陸地方整備局で選定しています。

区 分	選 定 数	備 考
優良工事	局長表彰 1件 事務所長表彰 3件	完成工事全数 55件
優良委託業務 (設計、地質調査、測量等)	局長表彰 1件 事務所長表彰 1件	完成業務全数 33件
優良建設技術者(工事)	事務所長表彰 1名	監理技術者
優良建設技術者(委託業務) (設計、地質調査、測量等)	局長表彰 1名 事務所長表彰 1名	管理技術者
優良工事における下請負者	事務所長より表彰 下請負者 1件 技術者 1名	優良工事に選定された 工事において、元請負 業者の推薦により選定

### 3. 選定要件

工 事 等：安全管理、工程管理並びに出来形及び品質、出来ばえ等の施工管理が優秀であり、さらに、創意工夫、コスト縮減、リサイクル等に積極的に取り組むなど、他の模範となるもの。

委託業務等：業務目的を十分理解のうえ、調査・解析等の専門技術力、工程・品質等の管理技術力に優れ、的確な成果の取りまとめを行うとともに、課題解決に向けた積極的な取り組みがみられるなど、他の模範となるもの。

### 4. 表彰結果活用

表彰結果は、入札契約等における企業評価資料として活用します。但し、下請負者は表彰のみとしています。

# 平成18年度完成 優良工事等選定結果

## 【北陸地方整備局長表彰】（信濃川河川事務所関係）

優良工事（局長表彰） 1団体

	請負者名	工事名
1	株式会社 曙建設	仲島低水護岸災害復旧その3工事

優良委託業務（局長表彰） 1団体

	請負者名	業務名
2	日本工営 株式会社 新潟支店	信濃川中流域水環境改善調査検討業務委託

優良建設技術者【委託業務】（局長表彰） 1名

	技術者名（請負者名）	業務名
3	黒崎 靖介 （日本工営 株式会社 新潟支店）	信濃川中流域水環境改善調査検討業務委託

## 【信濃川河川事務所長表彰】

優良工事（事務所長表彰） 3団体

	請負者名	工事名
4	大河津建設 株式会社	石港床留災害復旧工事
5	新潟砂利建設工業 株式会社	水尾新田護岸災害復旧工事
6	アイサワ工業 株式会社 新潟営業所	中条堤防災害復旧その2工事

優良建設技術者【工事】（事務所長表彰） 1名

	技術者名（請負者名）	工事名
7	勝又 一世 （新潟砂利建設工業 株式会社）	水尾新田護岸災害復旧工事

優良委託業務（事務所長表彰） 1団体

	請負者名	業務名
8	株式会社 エコロジーサイエンス	信濃川河川環境調査業務委託

優良建設技術者【委託業務】（事務所長表彰） 1名

	技術者名（請負者名）	業務名
9	藤塚 治義 （株式会社 エコロジーサイエンス）	信濃川河川環境調査業務委託

## 【優良工事における下請負者表彰】


下請負者 1団体 及び 1名

	請負者及び技術者名	業務名
10	株式会社 アソウ工業 小林 賢史 （株式会社 アソウ工業）	中条堤防災害復旧その2工事

平成18年度完成 優良工事 [局長表彰]

番号

1

請負者	株式会社 曙建設	事務所名	信濃川河川事務所												
	代表取締役 田尻 正敏	工期	平成18年 3月18日から 平成19年 3月30日まで												
	新潟県長岡市干場2丁目17番9号	請負金額 (千円)	306,600												
工事名	仲島低水護岸災害復旧その3工事	工事場所	新潟県長岡市仲島地先												
工事内容	低水護岸 L=560m  <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">土工(掘削)</td> <td style="width:10%;">21,000m<sup>3</sup></td> <td style="width:20%;">水制工(異形ブロック)</td> <td style="width:10%;">3基</td> </tr> <tr> <td>法覆護岸工</td> <td>6,290m<sup>2</sup></td> <td>水制工(擬石連結ブロック)</td> <td>8基</td> </tr> <tr> <td>根固工(異形ブロック)</td> <td>843個</td> <td>構造物撤去工</td> <td>1式</td> </tr> </table>			土工(掘削)	21,000m <sup>3</sup>	水制工(異形ブロック)	3基	法覆護岸工	6,290m <sup>2</sup>	水制工(擬石連結ブロック)	8基	根固工(異形ブロック)	843個	構造物撤去工	1式
土工(掘削)	21,000m <sup>3</sup>	水制工(異形ブロック)	3基												
法覆護岸工	6,290m <sup>2</sup>	水制工(擬石連結ブロック)	8基												
根固工(異形ブロック)	843個	構造物撤去工	1式												
選定理由	<p>本工事は、平成17年の梅雨前線出水で被災した低水護岸の災害復旧工事であり、平成18年度の非出水期間中に施工を行い、翌年3月の融雪出水までに完成させる計画で工事を発注した。</p> <p>一方、施工箇所は水衝部を含み、仮締切完了後に護岸の詳細調査を行った上で復旧範囲・施工数量を確定させる必要があり、当初より厳しい工程が予想された上、漁協よりサケの遡上期は濁水を伴う工事を実施しないよう要望されていた。</p> <p>このような施工条件の中、請負者は積極的な工程管理により仮締切及び詳細調査を早期に完了し、サケの遡上に支障を来すことなく工事を継続し、工期内に余裕をもって工事を完了させた。</p> <p>また、施工に先立ち創意工夫・イメージアップに積極的に取り組む姿勢がみられ、品質・出来形・出来映え共に良好な工事であった。</p>														
															

## 平成18年度完成 優良委託業務 [局長表彰]

番号

2

請負者	日本工営 株式会社 新潟支店	事務所名	信濃川河川事務所
	支店長 山田 伸次	業務名	信濃川中流域水環境改善調査検討業務委託
	新潟県新潟市中央区出来島1丁目 11番28号	工期	平成18年 6月 8日から 平成19年 2月28日まで
		請負金額 (千円)	28,455-
選定理由	<p>本業務は、永年にわたる課題である、信濃川中流域減水区間の水環境改善検討を結論に導くため、過去の調査検討結果を踏まえ、魚が住みやすい環境に必要な流量を検討するものである。</p> <p>本業務は、検討分野が水理、温度、生物と広い範囲にわたり解析技術の選択・連携には幅広い知識と経験など総合力が必要とされる業務である。</p> <p>本業務で実施した、生物の生息場の定量評価は、実河川での適用はほとんどなく、さらに河川内の生物生息環境を水温に着目した解析例は国外においてもほとんどない。また、短期間に的確な調査計画を立案し、十分な調査結果を取得して、検討・解析に結びつけている。</p> <p>検討の結果は、平成18年12月に開催された第14回信濃川中流域水環境改善協議会において報告され、協議会としても評価された。</p>		

## 平成18年度完成 優良建設技術者(業務) [局長表彰]

番号

3

技術者	黒崎 靖介	事務所名	信濃川河川事務所
	管理技術者	業務名	信濃川中流域水環境改善調査検討業務委託
	日本工営 株式会社 新潟支店 支店長 山田 伸次 新潟県新潟市中央区出来島1丁目 11番28号	工期	平成18年 6月 8日から 平成19年 2月28日まで
		請負金額 (千円)	28,455-
選定理由	<p>本業務は、永年にわたる課題である、信濃川中流域減水区間の水環境改善検討を結論に導くため、過去の調査検討結果を踏まえ、魚が住みやすい環境に必要な流量を検討するものである。</p> <p>本業務は、検討分野が水理、温度、生物と広い範囲にわたり解析技術の選択・連携には幅広い知識と経験など総合力が必要とされる業務である。</p> <p>本業務で実施した、生物の生息場の定量評価は、実河川での適用はほとんどなく、さらに河川内の生物生息環境を水温に着目した解析例は国外においてもほとんどない。また、短期間に的確な調査計画を立案し、十分な調査結果を取得して、検討・解析に結びつけているほか、協議会委員との対応も的確で委員から厚い信頼も得ている。</p> <p>検討の結果は、平成18年12月に開催された第14回信濃川中流域水環境改善協議会において報告され、協議会としても評価されている。</p>		

平成18年度完成 優良工事〔事務所長表彰〕

番号

4

請 負 者	大河津建設 株式会社	事務所名	信濃川河川事務所
	代表取締役社長 波瀾昭義	工 期	平成18年 9月12日から 平成19年 3月27日まで
	新潟県燕市新興野4番76号	請負金額 (千円)	71,190
工 事 名	石港床留災害復旧工事	工事場所	新潟県燕市渡部地先
工 事 内 容	床留災害復旧 1式 床留工 (コンクリート) L = 20m 112m <sup>3</sup> 根固工 (異形ブロック) L = 144m 348個		
選 定 理 由	本工事は、平成17年6月の出水により被災した石港床留の本体コンクリート復旧並びに根固ブロックを設置する工事である。 工事箇所は大河津分水路の低水路内にあり、小規模の出水でも影響を受ける施工条件の厳しい工事であった。 施工にあたっては、天候や流況などの情報収集に努め、工事施工のタイミングを調整するとともに、コンクリート工事に関する工程短縮や河道内に設置する工事用道路の安全性向上に関する工夫等が随所にみられ、品質・出来形管理共適切であり、無事故で工事を完成させた。		



工事完成状況




工事施工状況

平成18年度成 優良工事〔事務所長表彰〕

番号

5

請負者	新潟砂利建設工業株式会社 代表取締役 井口 登 新潟県南魚沼市 五日町210番地3	事務所名	信濃川河川事務所
		工期	平成18年 3月28日から 平成19年 3月 2日まで
		請負金額 (千円)	219,450
工事名	水尾新田護岸災害復旧工事	工事場所	新潟県南魚沼市水尾新田地先
工事内容	低水護岸 L = 120m 土工 掘削 24,800m <sup>3</sup> 盛土 5,400m <sup>3</sup> 法覆護岸工 1,520m <sup>2</sup> 根固工(木工沈床) 1,192m <sup>2</sup> 水制工(巨石水制) 3基 側帯盛土 8,300m <sup>3</sup> 植生工 3,440m <sup>2</sup>		
選定理由	本工事は、平成17年8月の出水により欠壊した低水護岸の災害復旧工事である。 施工箇所は、鮎釣りが盛んな魚野川の中流部にあたり、魚類生息環境への配慮が特に強く求められる工事であった。このため、地元漁業関係者とも積極的に意見交換を行い、巨石水制をはじめとする各種工法の採用・創意工夫により良好な魚類生息環境の創出に勤め、関係者からも高い評価を得た。 また、河道掘削で発生した土砂を点在した5箇所へ運搬処理したが、関係機関との対応、地元住民への配慮等現場運営も良好であり、工期内に事故・トラブルなく工事を完成させた。		
 <p>着手前</p>		 <p>工事完成状況</p>	

平成18年度完成 優良工事〔事務所長表彰〕

番号

6

請負者	アイサワ工業 株式会社 新潟営業所 所長 皆木 雪雄 新潟市学校町通2番町5293番地	事務所名	信濃川河川事務所
		工期	平成17年 3月19日から 平成18年 5月10日まで
		請負金額 (千円)	765,240
工事名	中条堤防災害復旧その2工事	工事場所	新潟県長岡市 中之島中条地先
工事内容	築堤護岸 L = 484m 土工(掘削) 47,100m <sup>3</sup> 土工(盛土) 50,700m <sup>3</sup> 法面整形工 7,960m <sup>2</sup> 土質改良工 14,540m <sup>3</sup> 地盤改良工(サンドコンパクションパイル) 2,249本 遮水矢板工 471枚 法覆護岸工 4,080m <sup>2</sup> 植生工 6,940m <sup>2</sup> 天端舗装 8,180m <sup>2</sup>		
選定理由	本工事は、中越地震で被災した長岡市中之島中条地区の信濃川右岸堤防の復旧工事である。工事箇所に隣接して民家が密集しており、振動・騒音に配慮した施工及び迅速な復旧が求められた。特に振動に関しては、集落が被災している事や、被害の拡大を懸念する住民の不安を解消するため、積極的に振動対策工法を取入れ、適切な現場管理のもと工事を進めた。 また、地元見学会の開催、地域住民への広報活動等を通して、住民に工事に対する理解と協力を得ていた。		



工事完成状況



写真左  
地盤改良工  
(無震動工法)

写真右  
現場見学会

平成18年度完成 優良建設技術者〔事務所長表彰〕

番号

7

請負者	(かつまたかずよ) 勝又一世	事務所名	信濃川河川事務所
	監理技術者	工事名	水尾新田護岸災害復旧工事
	新潟砂利建設工業株式会社	工事場所	新潟県南魚沼市水尾新田地先
	代表取締役 井口 登	工期	平成18年 3月28日から 平成19年 3月 2日まで
	新潟県南魚沼市 五日町210番地3	請負金額 (千円)	219,450
工事内容	低水護岸 L = 120m 土工 掘削 24,800m <sup>3</sup> 盛土 5,400m <sup>3</sup> 法覆護岸工 1,520m <sup>2</sup> 根固工(木工沈床) 1,192m <sup>2</sup> 水制工(巨石水制) 3基 側帯盛土 8,300m <sup>3</sup> 植生工 3,440m <sup>2</sup>		
選定理由	本工事は、平成17年8月の出水により欠壊した低水護岸の災害復旧工事である。 施工箇所は、鮎釣りが盛んな魚野川の中流部にあたり、魚類生息環境への配慮が特に強く求められる工事であった。このため、地元漁業関係者とも積極的に意見交換を行い、巨石水制をはじめとする各種工法の採用・創意工夫により良好な魚類生息環境の創出に勤め、関係者からも高い評価を得た。 また、河道掘削で発生した土砂を点在した5箇所へ運搬処理したが、関係機関との対応、地元住民への配慮等現場運営も良好であり、工期内に事故・トラブルなく工事を完成させた。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着手前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工事完成状況</p> </div> </div>			

平成18年度完成 優良委託業務〔事務所長表彰〕

番号

8

請負者	株式会社エコロジーサイエンス 代表取締役 大谷内忠夫 新潟県長岡市 草生津3丁目5番25号	事務所名	信濃川河川事務所
		業務名	信濃川河川環境調査業務委託
		工期	平成18年 6月30日から 平成19年 2月28日まで
		請負金額 (千円)	11,025
選定理由	<p>本業務は、信濃川河川事務所管理区間において、多自然型工法を採用する河川工事箇所の事前調査及び追跡調査等の河川環境調査、並びに信濃川河川環境全般についての考察を行ったものである。</p> <p>業務にあたっては、各種調査に関して工夫を行い、目的を達成する成果を取りまとめている。また、多自然型工法の追跡調査等においては、調査結果を踏まえて、コスト縮減や省力化が図れる提案を行い、今後の河川整備に寄与する成果を納めた。</p>		

平成18年度完成 優良建設技術者（業務）〔事務所長表彰〕

番号

9

技術者	藤塚 治 義 管理技術者 株式会社エコロジーサイエンス 代表取締役 大谷内忠夫 新潟県長岡市 草生津3丁目5番25号	事務所名	信濃川河川事務所
		業務名	信濃川河川環境調査業務委託
		工期	平成18年 6月30日から 平成19年 2月28日まで
		請負金額 (千円)	11,025
選定理由	<p>本業務は、信濃川における河川環境調査及び河川環境全般についての考察を行ったものである。</p> <p>業務にあたっては、各種調査に関して工夫を行い、目的を達成する成果を取りまとめている。また、多自然型工法の追跡調査等においては、コスト縮減や省力化が図れる提案を行い、今後の河川整備に寄与する成果を納めた。</p>		

平成18年度完成 優良工事における下請負者等表彰

事務所名	信濃川河川事務所
優良工事名	中条堤防災害復旧その2工事
元請推薦業者名	アイサワ工業株式会社
下請負者名	株式会社 アソウ工業 新潟市茨曾根2431番地
主任技術者	小林 賢史
専門工事業	とび・土工工事業
工事内容	土留め仮締切工（鋼矢板二重締切工） 鋼矢板打設・撤去（Ⅳ型 L=17.5m） 1,505枚 " （Ⅳ型 L=11.5m） 89枚 遮水矢板工 広幅鋼矢板Ⅱw打設（Ⅱw型 L=8.0m） 471枚
選定理由	<p>下請負者：</p> <p>鋼矢板打設にとって障害物の多い地層に対し、自ら対策工法を積極的に提案し、実行した。地元の機動力を生かし、その場に最適な機材、機種を迅速に調達、導入し工程の確保に貢献した。また、熟練した作業員による施工により、仮設構造物の出来映えも非常に良好であった。</p> <p>安全面に関しても、作業状況にマッチした足場、吊フック等を自社工場ですら先行して製作し使用するなど、創意工夫が随所に見られた。</p> <p>技術者：</p> <p>年配の熟練した職人たちをよく統率し、的確な指示、伝達により作業員の安全意識の高揚に努めた。また、休憩時の水分補給の世話、日陰の確保など、作業環境面への気配りが極めて優秀であった。他業者の職長とも、日頃からコミュニケーションを密にし、現場の円滑な運営と明るい職場作りによく努力した。</p>